

腹部アセスメントモデル

型番 | MW43 | コードNo | 11423-000 | 価格 | ￥お問い合わせください

モデル本体	1体
肝臓可動機構	1式
腎臓(水腎症/のう胞)	各1個
脾臓(肥大小/肥大)	各1個
肝臓(肝硬変前期/後期/慢性肝炎/正常)	各1個
子宮(正常/子宮筋腫)	各1個
リンパ腫(鼠径部)	2腫
模擬聴診器	1個
コントローラー	1個
電源用 AC アダプター	1個
イヤホン	1個
タルカムパウダー	1個
専用収納ケース	
取扱説明書	



本体	成人胸腹部モデル
大きさ	約 W40× D80× H20 cm
材質	軟質特殊樹脂 / 硬質樹脂
重量	約 14kg

腹部アセスメントモデル

生体に極めて近い触感を再現
視診・聴診・打診・触診による
腹部診察技術を習得



関連製品



MW30 11412-000
頸部リンパ節・甲状腺
触診モデル

￥お問い合わせください

診察部位に異常及び正常所見を示す状況を再現しており、診察手技を臨床推論とともに学ぶことができます。



MW62 11445-000/-010/-020
甲状腺触診モデル
フルセット/Aセット/Bセット

￥お問い合わせください

甲状腺疾患に特化した世界で唯一の触診モデルです。



US-1B 41900-030
超音波診断ファントム上腹部病変付モデル
"ABDFAN"

￥お問い合わせください

超音波スクリーニングの基礎から臓器別及び臓器内病変のスクリーニングまで段階的に演習が行えます。



US-1 41900-010
超音波診断ファントム 上腹部モデル
"ECHOZY"

￥お問い合わせください

これから腹部超音波検査を学ぶ方々の演習に最適なモデルです。

- 製品は絶えず改良を続けておりますので、仕様・外観など予告なく変更になる場合がございます。予めご了承ください。
- このパンフレットに掲載の文章・情報・写真等については、許可なく無断転載・転用・コピーなどは固くお断りいたします。

取扱店

製造元

株式会社 **京都科学** URL <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

京都本社・工場
〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL.075-605-2510 (直通) FAX.075-605-2519

東京支店
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL.03-3817-8071 (直通) FAX.03-3817-8075

実習項目



視診

腹部全体



聴診

- 大動脈雑音
- 腎動脈雑音
- 総腸骨動脈雑音
- 腸音 (正常/サブイレウス)



触診

- 肝臓 (正常/慢性肝炎/肝硬変)
- 脾臓 (正常/肥大(小・大))
- 腎臓 (正常/のう胞/水腎症)
- 鼠径部 (正常/リンパ腫)
- 子宮 (正常/筋腫)



打診

- 肝臓
- 脾臓

特長

POINT

01 新素材を採用し、**人体の腹部に近い柔らかさ**を再現

- ▶ 柔軟性に優れた新素材を採用
- ▶ 生体に近い触感のため、正常や異常所見の臓器の特徴を、指で触れた感触で学べます



POINT

02 **臓器の変更**で、正常と異常所見の診察技術を習得

- ▶ 大きさ・形状・硬さの異なる臓器の交換で、腫大や腫瘍の有無などを触診できます
- ▶ 腹部診察技術・診断能力の習得で、基礎から臨床での実践力向上につながります



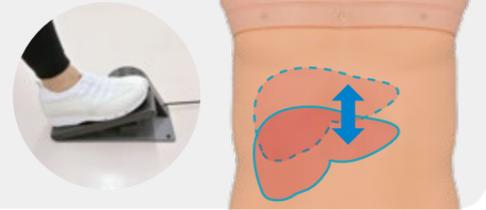
かんたん
セッティング

1人でもスムーズな
トレーニングが可能

POINT

03 **呼吸性変動に対応**した肝臓触知

- ▶ フットスイッチで、肝臓の上下を操作でき、呼吸による位置の変動を再現します。



POINT

04 専用聴診器で腹部の血管音と腸蠕動音を**聴診**できます

- ▶ 腹部の血管音と腸蠕動音は内蔵されており、音源の追加も可能です



触診
部位

臓器の位置確認に必要なランドマーク付
(骨盤、胸郭下部、肋骨、肋骨縁、剣状突起、恥骨、上前腸骨棘)

触診可能部位
聴診可能部位

肝臓

- 正常
- 慢性肝炎
- 肝硬変(前期)
- 肝硬変(後期)

打診と呼吸性変動に合わせた3段階の触診が可能

腎臓

- 正常
- のう胞
- 水腎症

腎臓の浮球感を再現

脾臓

- 正常
- 肥大(小)
- 肥大(大)

Traube 三角の打診と触診で、脾臓肥大の確認が可能

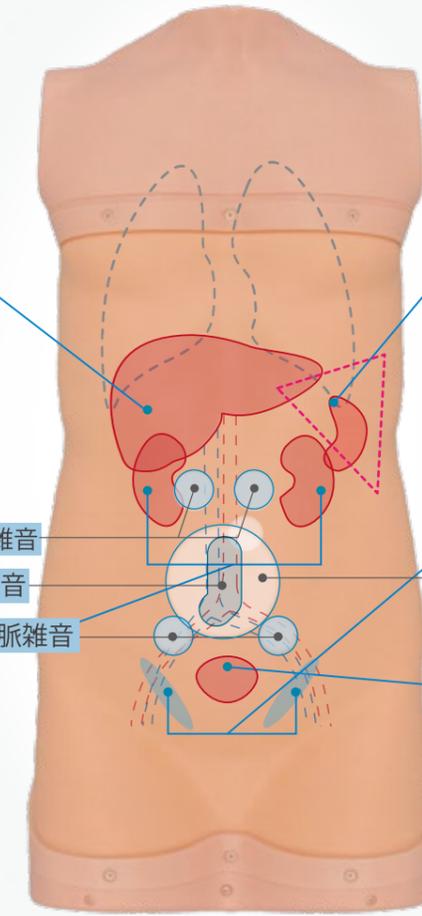
鼠径部

- 正常
- リンパ腫

子宮

- 正常
- 筋腫

腎動脈雑音
大動脈雑音
総腸骨動脈雑音
腸音



活用例

OSCE のプレ演習

01	事前学修	Eラーニングなどの教材を用いて腹部アセスメントに関する知識の習得
02	デモンストレーション	腹部アセスメントモデルでアセスメントのお手本を見せる
03	グループ演習	グループ毎に腹部アセスメントモデルを使って演習を行う
04	プレゼンテーション	OSCE の手順に従い、各グループから代表1名が出て課題を行う
05	フィードバック	講師やグループメンバーによる、フィードバックを行う

監修 国際医療福祉大学 副学長 天野 隆弘
静岡県立大学 看護学部看護学科(基礎看護学) 教授 荒井 孝子
国際医療福祉大学 医学部 医学教育統括センター 助教 パバエフ タメルラン